

環境啓発施設エコプラザ（仮称）の正式名称の決定について

1 名称

「むさしの エコ re ゾート／MUSASHINO eco reSort」
（呼称：むさしの えこ りぞーと）

2 決定経緯

(1) 市民ワークショップの開催

コミュニケーションディレクター・アートディレクターの森本千絵氏の企画・ファシリテートにより3回のネーミングワークショップを開催。

- ① 令和元年 8月26日（月） 学生向け環境の学校 第1回 参加者 10名
- ② 令和元年 9月 6日（金） エコプラザ（仮称）連携会議 第3回
- ③ 参加者 41名
- ④ 令和元年 10月19日（土） 一般公募・無作為抽出市民ワークショップ
参加者 13名

(2) 決定方法

- ・ 3回のワークショップで提案された名称案の中から、ワークショップ参加者による投票で最も得票数が多かった「re ゾート」を採用することに決定。
- ・ 「re ゾート」を基に、市名の「むさしの」と、環境啓発をイメージする「エコ」を加えて、「むさしの エコ re ゾート」とした。

3 その他

(1) リゾートの語源

- ・ 再びを意味する「re」と、フランス語で「出かける」という意味を持った「sortir（ソルティール）」の略である「sort」が合わさった単語で、何度も通う場所」の意が転じて「行楽地・保養地」となった。
- ・ 「resort to ～」で「最後の手段として ～ に訴える」という意味になる。

(2) ワークショップにおける提案理由

ひとつの木が育って雑木林のような場となり、何回も訪れたくなるような、あたたかい感じのする集まれる場所。リゾートであり、危機的な環境を守る最後の砦という趣旨で提案された。

（裏面あり）

① 学生向け環境の学校の様子



② 連携会議の様子



③ 一般公募・無作為抽出による市民ワークショップの様子

